

「人に尽くし、笑顔につなげたい」 理想のサービス目指して会社設立

consulting firm

会社の特長は？

「理想とする会社をつくるために、ゼロベースから始めたかった」。大野康雄代表取締役はJIN設立の理由を語る。同社は政府開発援助（ODA）事業の南スーダン「包括的農業開発マスタープラン策定支援プロジェクト」をはじめ、各国の農業・農村開発などに携わってきた。プロジェクトが終了した後も継続的に支援するため、自社負担でフォローアップを行うこともある。

同社の事業を支えるのは、大野代表取締役の理念に共感して集まった若い社員たち。「社員は共に会社をつくる仲間」として、経営や各事業の情報が社内ですぐ共有される仕組みをつくることを目指している。

また「会社は社員の自己実現の場」という考えに基づき、社員が自ら設定したテーマの活動を支援している。例えば、山下さんは協力隊時代に関わったウガンダの有機農園に対して自主的に支援を続けてきたが、同社はその活動を長期的にサポートしていく考えだ。社員の思いを大切にすることが、途上国の人々の笑顔につながっていく。だからこそ同社の理想とする形なのだ。



求めている人材は？



大野代表取締役は「情熱と相手を思いやる心を持ち続けることこそが、良い仕事の土台になる」と述べる。その上で「面接で重視するのは説得力。自分は何をやりたいのか、そのためにどんな努力をしてきて、それがどこに結び付くのか、独り善がりを避けつつ自分の言葉でしっかり語り、われわれを説得してほしい」と強調する。面接は2〜3時間続くことも珍しくない。

創設4年目を迎え、開発援助の基本的な考え方やプロジェクトへの具体的な取り組み方をまとめた研修メニューを作成するなど、新入社員を受け入れて育成する体制は着々と整いつつある。理想の会社づくりに向けて、JINは不断の前進を続けている。

「利益にとらわれず本当に社会的意義のある仕事をする。クライアントとともに開発途上国の発展を真摯な態度で考え行動する。そうした理念に共感し、JIN設立に参画しました」と語るのは、途上国で農村社会調査やプロジェクト評価などを手掛ける山下さんだ。

山下さんの原点は、大学2年の時に参加したNGOのスタディーツアー。「マレーシアの先住民が住む地域を訪問した際、熱帯雨林の伐採など環境破壊の様子が印象に残りました」。

大学院に進んでプロジェクトの管理手法などを学んだ後、青年海外協力隊としてウガンダに赴任。地方都市の開発計画策定や有機農業の振興に携わる中で、「現地の人々と一緒に汗を流す

コンサルタント
山下 里愛さん (37歳)
Riai Yamashita

company data

株式会社JIN
JIN CORPORATION
〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町2-10 尾熊ビル3F-B
設立：2011年 資本金：900万円 従業員数：10人（2014年7月現在）
代表者：代表取締役 大野康雄
事業分野：農業・農村開発、保健衛生、環境・社会配慮、評価分析、人材育成、中小企業支援など



recruitment

新卒採用：なし 中途採用：あり
募集職種：開発コンサルタント（通年募集）
募集人数：募集時に指定

TEL：048-650-0400 FAX：048-650-0401
URL：http://www.jincorp.jp/

開発コンサルタントに関心を持ちました。帰国後はソフト系開発コンサルティング企業に入社し、研修事業やフィリピン、ウガンダの地域開発事業に関わる。その後、2011年のJIN設立に参画した。「人のために尽くしたい」という同じ志を持つ仲間がいる安心感があります。今後も地域開発などを通して、現地の人々の笑顔をつくっていきたいと思います」と山下さんは意欲を見せる。

